



第3回対策委員会開催

データから見た危険について

10月31日、第3回セーフコミュニティ対策委員会を開催しました。今回は、秩父市内で実際に発生した事故やケガのデータをもとに危険や不安について意見を交換をしました。

一例として交通安全対策委員会を見てみます。事務局からは交通事故に関する救急搬送データ、警察統計による交通事故発生データなどを情報提供しました。

救急搬送から見た交通事故の時間帯別発生状況(図1)を見てみると、全国では午後4時～6時の夕暮れ時に多く発生しているのに対して、秩父市では正午～午後2時の発生が最も多く、午前10時～正午も続いて多いという特徴がわかりました。また、曜日別発生状況では、土曜・日曜の発生が多くなっていました。このほか地区別発生状況、事故類型別発生状況などのデータを踏まえて、各委員からは、

- ・多発地域の中でも事故発生ポイントには限られている。
- ・10代の自転車の事故が多い
- ・追突事故が多い

などの意見が出されました。

また、交通安全に関しては、高齢者や子どもなども対象となり、他の対策委員会との連携も必要になってきます。

今回は、これまでのワークショップで出された秩父市の課題と既存の取り組みとの擦り合わせについて議論していきます。

問 危機管理課 22-2206
※交通事故が多発しています。十分お気をつけください。

